

一中授業スタンダードⅡ

【目指す生徒像】

自分の考えや考えた理由を明確にし、図や絵や言葉遣いや考えた理由などを用いて、相手に自分の考えが正確に伝わるように工夫して表現できる生徒。

導入

単元を貫く課題・本時のめあてを提示する

めあては生徒の言葉から作成し、生徒が授業の見通しが持てるようにする。

考える材料をしっかりと教える

既存の知識・技能の確認・復習をしたり新しい知識・技能を教えたりして考えるための道具とさせる。

展開

じっくり考えさせる

新しい知識・技能の活用の仕方を考え、実際に課題に取り組む。その活動を通して自分の考えをもったり、他の人の意見を聞いたりしてよりよい方法を発見する。

* 自分の考えや理由を書かせる活動を入れる

はっきり表現させる

自分の考えや考えた理由を明確にし、図や絵や言葉遣いや考えた理由などを用いて相手に自分の考えが正確に伝わるように表現を工夫させる。

* 相手の意見からの気づきや自分の意見の変容を書かせる活動を入れる

【表現力の育成のために】

- ①体験から感じ取ったことを正確に伝える。
- ②事実を正確に理解し正確に伝える。
- ③概念・法則・意図などを解釈し、自分の考えと理由を伝える。
- ④情報を分析・評価し説明する。
- ⑤課題について構想を立てて実践し、その成果と課題を伝える。
- ⑥互いの考えを伝え合い、考えを発展させる。

まとめ

まとめを提示する

この時間に考えたことや学んだことを生徒の言葉を用いて整理する。

めあてとまとめの整合性の確認

授業の振り返りをする

この時間の学びの成果や発見を振り返る。

個別
追究

集団
追究

全体
共有

今日の授業
を家庭
学習へ！